

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 4 区分  
【発行日】平成 25 年 5 月 16 日 (2013.5.16)

【公表番号】特表 2012-525817 (P2012-525817A)  
【公表日】平成 24 年 10 月 22 日 (2012.10.22)  
【年通号数】公開・登録公報 2012-043  
【出願番号】特願 2012-508785 (P2012-508785)  
【国際特許分類】

H 0 2 G 15/184 (2006.01)

H 0 2 G 15/08 (2006.01)

【F I】

H 0 2 G 15/184

H 0 2 G 15/08 K

【手続補正書】  
【提出日】平成 25 年 3 月 29 日 (2013.3.29)

【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

第 2 のチャンバと交差する第 1 のチャンバを有するコールドシュリンクハウジングを含み、

前記第 1 のチャンバが、前記第 2 のチャンバの最も近くに上部を備えた概ね円筒形を有し、前記上部が、前記第 1 のチャンバの残りの部分の直径より大きい直径を有する、物品。

【請求項 2】

取り外し可能なサポートコアが前記第 1 のチャンバ内に装填されたときの前記上部の内径の最大増加が、前記第 1 のチャンバに前記取り外し可能なサポートコアがないときの前記内径の 100% 未満である、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 3】

前記第 1 のチャンバに取り外し可能なサポートコアが装填されたときの前記上部の内径の最大増加が、前記第 1 のチャンバに前記取り外し可能なサポートコアがないときの前記内径の約 100% ~ 約 0 超% であり、取り外し可能なサポートコアが前記第 1 のチャンバに装填されたときの前記第 1 のチャンバの前記残りの部分の内径の最大増加が、前記第 1 のチャンバに前記取り外し可能なサポートコアがないときの前記内径の約 150% ~ 約 300% である、請求項 1 に記載の物品。